

問 学習の遅れには柔軟な対応を

答 実情に応じた見直しを指示



長谷川 博 議員

すこと。

問 学習の遅れでは児童生徒の負担の加重を避けるべき。市民アンケートに「遅れを取り戻そうと詰め込み授業は避けてほしい」との回答あり。

1 件目  
問 臨時休業が解除され、授業再開に当たって重視した点は。  
答 教育長 感染症予防と学びの保障の両立を目指

答 教育長 国の通知もあり、授業時数を機械的には確保せず、実情に応じた見直しを指示している。  
問 人員の配置、オンライン授業および9月入学

- 1. 学校再開について
- 2. 原発避難計画について

(答弁：教育長)  
(答弁：市長)



▲児童生徒に負担のない学校再開を



の見解は。

答 教育長 国に学習指導員を要望している。GIGAスクール構想で全員にタブレットを配備する。9月入学は社会全体に関わる変更で、十分な議論が必要。

2 件目  
問 県の調査で避難に最大で5日以上かかることが明らかに。避難計画を再度検証すべき。コロナ禍での避難はどのように。  
答 市長 国県の指示による屋内退避を市民に周知徹底する。感染防止を加味した避難方針は今後、国県から通知がある。

問 避難計画は不十分、市長は実効性確認まで再稼働すべきでない」と表明するべき。アンケートでは再稼働に賛成9%、反対60%、どちらともいえない30%という結果だ。  
答 市長 今、女川・石巻両議会で慎重審議されており、状況を見極めて判断する。

問 今後の市政運営について問う

答 国、県の方針を参考に進める



小野 幸男 議員

問 本市での発熱外来等の必要性和設置は。

答 市長 石巻圏域の発熱外来の設置は重要であると認識し、石巻保健所長に対し5月25日に要望書を提出し、現在協議中であるとの回答である。

問 失業者の医療分野への転機を促す助成制度や医療機関の体制維持の支援策の考えについて。  
答 市長 今年度「奨学金返還支援事業助成金の拡充と救急医療体制確保補助金」を創設、交付決定済。国、県の支援等を踏まえ、取り組み充実に努める。

問 本市への移住定住の市長の考えと取り組みは。  
答 市長 東松島移住定住ポータルサイト「ひがま

- 1. 今後の市政運営について問う (答弁：市長、教育長)



▲復興事業の完結と待たれる野蒜海水浴場の再開



11

つ暮らし」を6月に開設し、ふるさと回帰支援センターと移住コーディネートとにも取り組みを進める。  
問 デマンドタクシーからくらく号の無料運行の考えについて。  
答 市長 さらなる市の負担増となることから、現状の料金体制を継続する。

問 沿岸部の復興事業の進捗状況について。  
答 市長 現時点で95%の進捗で、令和3年3月末の完成を予定している。  
問 オンライン授業の取り組みの考えについて。  
答 教育長 児童生徒の学びを豊かにし、学習保障の観点に立ち、取り組む。